

トップガンジャーナル



理数クラブ

Journal of TopGun

第3号

活動レポート

「測ることができない距離や高さを測ろう『実技競技大会』」

6月1日(水)、トップガン理数クラブが附属浜松中学校で行われました。受講者は、附属浜松中学生70名(3年生3名、2年生20名、1年生47名)でした。

6 / 1 (水) 実技競技大会

3~4人で1チームになり、自分たちの歩幅を測り、グループで工夫して作った測量器を使って巻き尺を使わずに手の届かないところの高さや2点間の距離を測ります。

問題 1 体育館の床から天井にある金具までの高さを求めよ。

問題 2 ステージにつるされた三つの旗(国旗・校旗・大学旗)の両端の長さを求めよ。

競技場所・・・体育館内

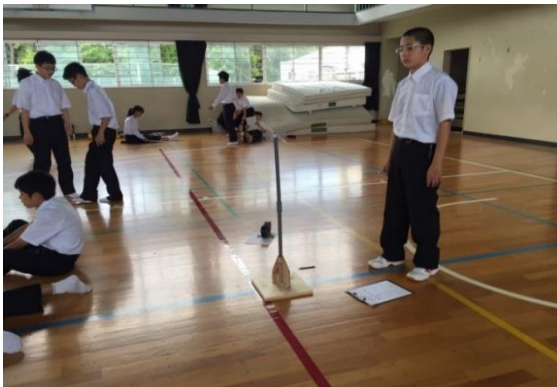
競技大会では、距離測定を目安として、各選手の一歩の長さを求めました。普通に歩いた時の歩幅は人によって異なりますが、同じ人ではかなり一定の値となります。体育館には、20mの長さの線が、引いてあります。線の端に足をそろえ、普通に歩いて20m先の線まで何歩で歩くか計測しました。



< 写真 開会式 >



< 写真 歩幅測定 (20mを歩き1歩は何cm?) >



<写真 チーム毎、競技大会に取り組むようす>

須山建設（株）さんのご協力により、光波測距儀を使って測定した値を正解としました。

問題1の答え : 9.8 ㍓

問題2の答え : 4.2 ㍓



<写真 自作測量器での測量競技終了後、須山建設(株)光波測距儀をのぞくようす>

校長先生にインタビューしました。

出来上がった測量器を見てみると、みんな工夫して作っていて、すごいなと思いました。真剣にやったり、本気でやったりというのは、スポーツや体育大会などだけでなく、今回のような実技競技大会で、本気でやっているといいですね。自分たちで思い思いの作品をつくるというのは、将来のためになるし、いい経験になったと思います。

測量器も、一人ひとり違うものになっていました。これも将来のためになると思います。他の人が作った作品を見て学ぶというのも大切にしたいですね。

(小南陽亮)

編集部子ども記者より

1年生の皆さんは、初めての方が多かったことと思います。しかし、トップガン研究室の山本先生の話聞いて、みんな積極的に活動(実技大会)をしていて、とてもよかったと思います。

最初の、20mを歩いて自分の歩幅を測るところから、体育館の床から天井までの高さ、国旗の端から学校期の端までの長さを測るところまで、チームのみんなと協力して行っていました。ぜひ、次の活動からもこの姿を見せて行ってほしいと思います。

須山建設さん、静岡大学さん、ありがとうございました。

トップガンジャーナル子ども記者・カメラマン

中学1年 青島嘉遵 金子聖矢